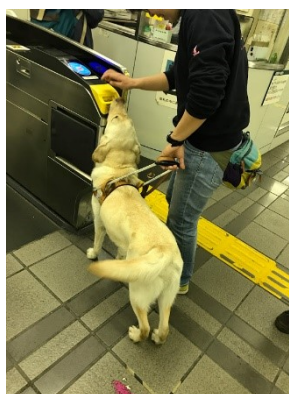


2017年6月20日

障害者福祉を促進する練馬区・社会貢献を推進する西武鉄道のご協力のもと  
**アイメイト（盲導犬）の実践的な訓練場所として**  
**練馬区役所と西武鉄道の施設を7月26日より利用開始**

国産盲導犬第1号チャンピオンを育成した公益財団法人アイメイト協会（代表理事：塩屋隆男）はこのほど、アイメイト（盲導犬）を育成するための実践的な訓練場所として、障害者福祉を促進する練馬区役所の庁舎を利用させていただくことになりました。また、社会貢献を推進する西武鉄道のご協力により、駅ホーム・改札口の利用や電車の乗降訓練などに利用させていただくこととなりました。



### 1. 練馬区役所でのアイメイト（盲導犬）の訓練について

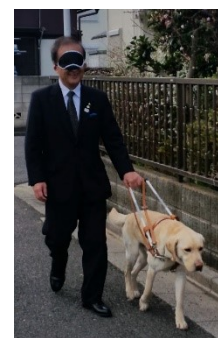
- 訓練開始日：2017年7月26日（水）
- 場所：東京都練馬区役所  
練馬区豊玉北六丁目12番1号／TEL：03-3993-1111（代）

#### ○練馬区役所利用のきっかけ

- ・2017年3月17日（金）、前川耀男練馬区長がアイメイト協会を視察。アイメイトの理解促進にはまず知ることからと、アイマスクを着けてアイメイト歩行を体験しました。

#### ○区役所利用の背景、意義

- ・「誘導訓練」は、アイメイト（盲導犬）育成において非常に重要な訓練です。視覚障害者の安全な歩行のために、多くの人が行き交う場所で実践的な訓練を行う必要があります。
- ・「誘導訓練」は主に屋外で行うため、天候などによって計画通りに進められないこともあります。そのような時でも練馬区役所の広い屋内空間では、設置されている階段、エスカレーター、エレベーターなどを利用して訓練を進めることが可能になります。
- ・また、食堂や窓口の受付など、視覚障害者が公共の施設を利用する際に必要となる様々な場面での訓練も行うことが可能です。
- ・今回、練馬区のご厚意により素晴らしい訓練環境が整ったことで、アイメイト（盲導犬）の育成がさらに順調に進み、視覚障害者の目としてますます活躍するものと期待されます。



## 2. 西武鉄道でのアイメイト（盲導犬）の訓練について

○訓練開始日：2017年7月26日（水）

○場 所：西武池袋線練馬駅、豊島園駅、石神井公園駅

練馬駅～豊島園駅間および練馬駅～石神井公園駅間の電車内 など

○鉄道利用の背景、意義

- ・「誘導訓練」は、アイメイト（盲導犬）育成において非常に重要な訓練です。視覚障害者の安全な歩行のために、多くの人が行き交う場所で実践的な訓練を行う必要があります。
- ・アイメイト使用者が移動する際、多くの場合公共交通機関を利用します。中でも鉄道の利用は多く、通勤・通学をはじめ、平日・週末を問わず日常的に利用します。
- ・その際は当然のことながら、行き交う多くの乗降客の中を、安全に、確実に歩行することが求められます。駅や電車の利用において、日常的にアイメイト使用者が利用するすべての場面を想定して、駅構内、改札口周辺、駅ホーム、電車乗降、電車内などで訓練をします。
- ・今回、西武鉄道のご厚意により、実際の鉄道現場を利用して「誘導訓練」を行える機会が増えたことで、アイメイト（盲導犬）の育成がさらに順調に進み、視覚障害者の目としてますます活躍するものと期待されます。

## 3. アイメイト協会代表理事・塩屋隆男よりご挨拶（感謝の言葉）

この度は、アイメイト（盲導犬）の実践的な「誘導訓練」の場をご提供いただくこととなり、練馬区様、西武鉄道様に心より感謝申し上げます。多くの人が行き交い、状況が刻々と変化する場での実践的な訓練は、視覚障害者の安全で迅速な歩行を支える素晴らしいアイメイト（盲導犬）の育成の大きな後押しになるものと考えております。

当会はわが国における盲導犬事業のパイオニアとして「視覚障害者の歩行問題解決のお手伝い」を使命に活動を続けてきました。卒業ペア数は1,326組を超え（2017年6月10日現在）、国内で最多の卒業実績をあげています。皆さまのご支援・ご協力に感謝し、これからも視覚障害者福祉の事業に打ち込んでまいります。



## 4. 「誘導訓練」とは？

- ・ハーネスを装着し、主人である視覚障害者からの指示に従って安全に誘導することを教えます。
- ・常に道路の左側に寄って歩く訓練や、障害物回避、信号や踏切の横断、電車や自動車の乗降など視覚障害者の歩行に役立つ実践的な訓練を行います。
- ・訓練が終盤に差し掛かると、歩行指導員※は実際にアイマスクを付けて犬と歩き、訓練の仕上がりや何度も確認します。

※犬の訓練と視覚障害者への歩行指導を一貫して行う協会職員